

北海之光

7月号 北海道教区報

祝福されよ 主に信頼する人は

エレミヤ書 17章 7節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshkk-hokkaido.jp

http://www.nshkk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

マグダラのマリアという女性

帯広聖公会牧師

司祭 エリザベツ 阿部 恵子

キリスト教の核心は主イエスが復活されたことにあります。もし、復活という出来事がなければ主の十字架上の死は、単なる偉人の死で終わり、キリスト教という宗教は生まれていなかったと思います。

そのキリスト教の最大の奥義である、イエス・キリストの死と復活の場において、女性たちが中心を成していたことには大きな意味があると思います。

その女性たちの中心となった人がマグダラのマリアです。新共同訳聖書ではマグダラのマリアと呼ばれています。が、マリア・マグダレーナとも呼ばれています。名前に冠しているマグダラとは、ガリラヤ湖畔のゲネサレト地方のマグダラ出身であるためですが、彼女には男性の親類も夫もおらず、独身でイエスに

従ったと思われるのです。なぜなら、既婚者であったならば、この時代の常であったように、彼女はむしろ男性名を通して具体的に呼ばれていたと思うからです。

マグダラのマリアについては諸説語られています。「罪深い女」としてのマグダラのマリアは、娼婦として、あるいはペタニアのマリアと同一人物であるとするカトリックの考え方もあります。

さらにダ・ヴィンチ・コードにはイエスの妻として描かれています。しかし、四福音書の中ではつきり語られていることは、イエスによって七つの悪霊を追い出された女性であること、十字架刑のイエスを遠くから見守り、その埋葬を見届けたこと、そして、イエスの復活に最初に立ち会った「復活の証人」となっ

たということですが。

イエスの十字架刑において、男性の弟子たちが「イエスなど知らない」と逃げだしたことは反対に、マグダラのマリアが聖母マリアや他の女性と共に、遠くからその様子を見守り続けるには、相当な覚悟がなければなりません。なぜなら、十字架上のイエスは秩序の攪乱者としてローマ軍に捕えられたのですから、女性とは言え、捕えられたならばイエス同様拷問を受けたうえで、十字架にかけられるかも知れないからです。また、イエスの復活に際しては彼女が最初にイエスに会っていること、そして復活の証人としてマグダラのマリアの名前が常に最初に記されているところから、男性の弟子のシモン・ペテロと同じ扱いの女性使徒ではなかったかと思うのです。マグダラを後にしたマリアは信従の道(弟子への道)を歩んだのではないかと思うのです。

ルカ福音書でイエスは弟子への道とは、「わたしについ

て来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って従いなさい。自分の命を救いたいと思う者はそれを失うが、わたしのために命を失う者はそれを救う」とその道を示し、弟子の条件として、「もし、だれかがわたしのもとに来るとしても、父・母・妻・子ども・兄弟・姉妹を、さらに自分の命であろうともこれを憎まないならわたしの弟子ではありえない」と語っています。

イエスの弟子への道は非常に困難です。ジョージ・フォックスは「最初に神の掟を踏み越えたのは女性であったが、死・墓からの復活を最初に告げ知らせたのもまた一人の女性であった」とマグダラのマリアを評価しています。マリアはイエスの死を見守り、イエスの復活の証し人として、弟子達に主の復活を告げるために遣わされ、この為に、初期キリスト教父達から「使徒達への使徒」と呼ばれたのかも知れません。



福音と私(二四九)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか

室蘭聖マタイ教会信徒

ヨハネ 山 本 侑 男

—心の窓をひらく—



私の好きな聖句

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

マタイによる福音書第二一章二八節

私は、クリスチャン三代目と聞いていますが、祖父母の事は全く知りません。

「天にまします我らの父よ」子どもの頃この書き出しの主の祈りを暗記しました。

生まれは道南の今金町です。ただ今金の事はほとんど記憶になく、親戚が沢山あって、友達と幼稚園(なんとお寺さん経営)に九ヶ月通い、父親(公務員)の転勤で十勝の本別町・旭川市・室蘭市と何度か移転いたしました。

今金では教会へ行った記憶はありませんが、何処か信者

ら足が遠のいてしまいました。が、室蘭に来て学校卒業後社会人になり、また通い、今日に至っております。

私の父アブラハム八郎・母ルツ幸も教会に通っております。

私共は、昭和五六年に結婚し娘二人に恵まれ、子どもたちは近くのベネディクト幼稚園に通い、時々私の両親と教会にも行っております。

そんなことで、十字架や教会の雰囲気違和感がなかったんだと思います。ある日突然、長女が教会で洗礼を受けたと言い出し、正直言つてびっくりしたのと、大変嬉しかった事を思い出します。「宗教は極端・異常な教えでなければ周りが強制・否定するものではないと思うので良いよ」と言うと、そばにいた次女がそれなら私もと言い出し、二人同時にお願ひすることに致しました。更に妻が私たちも

お願ひしたいとなり、四人同時に洗礼を受けました。小貴先生には大変お世話になり、その時頂いたそれぞれのクリ

スチャンネームは、私侑男はヨハネ・妻妙子はエリザベツ・長女綾子はクララ・次女寿子はフランセスです。

今は、教会の会計を担当し、責任の重さを感じております。教会員の高齢化も進み、会員数も減少しています。みんな力であわせて守って行きたいと思っております。

これからも、各先生方の御指導を宜しくお願い致します。

今、世界中を騒がせている新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈りつつ、これからもイエス様を信じて歩いて行きたいと思ひます。

最後に、この原稿を書くのに長い時間がかかりご迷惑をかけた。また自分自身の事も含めて昔の事は忘れていた事が多かった。ただ私は洗礼を受けたのは遅かったけれど、「子どもの頃からのクリスチャン」だと思ひます。



「福音と私」という「宝」

上記の「福音と私」のコラムは「北海之光」にとって重要な記事の一つであると思われる。

北海道教区の信徒一人ひとりの信仰の軌跡、それぞれが全く異なった生き方の中で、どのように主に導かれてこられたかを知る「宝」ともいべき記事です。

あの方がそのような中で…、この方はどのように導かれて…と、驚きと感動の信仰告白が、「福音と私」を読む私たちを奮い立たせます。ご自分では当たり前のようにつひとつ積み重ねてこられた人生でしょう。けれども読む私たちにとってはそれがたとえ過去のことであっても、新しい力を得ることになるのです。

私にとって毎月の楽しみであり、ああ、ここにこそ北海道教区の力があると改めて感じさせてもらえる「宝」。小さな信仰の軌跡、けれどもそれが積み重なったからこそ北海道教区なのです。

これからも「福音と私」が聖職・信徒、それぞれの力となっていくように。

主教 ナタナエル

常置委員会報告
 第八回 六月一三日

《協議事項》

一、宣教協働区・伝道教区(植松主教定年退職も含めて)に

関する件
 ・七月八〜九日に開催される
 教役者会の報告を受け、七月
 の常置委員会で検討を行い、
 方向性やそれに伴う具体的日
 程について周知を図ることと

した。
 二、稚内聖公会・厚岸聖オー
 ガスチン教会に関する件
 ・両教会の伝道所への移行手
 続きについて検討した結果に
 基づき、具体的に作業を進め

ることとした。
 三、今年度の上期を終えて教
 区・教会財政に関する件
 ・上半期終えた時点で検討・
 協議することとした。
 四、日本聖公会二〇二〇年度
 統計表と北海道教区に関する
 件



主教室より

今年、網走聖ペテロ教会
 は宣教開始一三〇周年を迎
 えています。先日、網走の
 教会巡回があり、宣教一三
 〇周年の特祷を捧げまし
 た。礼拝中、私の横の壁に
 ある逝去者の銘板を見ます
 と、約一三〇名の方々の名
 前がありました。それに加
 えて、この教会で信仰に入
 り、他の教会に移っていか
 れてそこで生涯を全うされ
 た方も多くおられたと思
 います。

今回の巡回の直前、札幌
 キリスト教会信徒のKさん
 のお葬式がありました。K
 さんは二六歳のとき、網走
 の教会で洗礼を受け、その
 二〇年後札幌に移り、八六
 歳で天に召されるまで、教

会委員や婦人会会長
 などの奉仕をされ、
 熱心に信仰生活に励
 みました。彼女によって訪
 問を受けたり手紙をもらっ
 た信徒、特に高齢者や病者、
 独り暮らしの方はたくさん
 いたはずですが、また、教会
 ではないつも誰にでも、子ど
 もたちにまで優しく声をか
 けてくださいました。葬送
 式の説教では、彼女の生涯
 にわたる献身に対して「お
 疲れさま、ありがとう、主
 に賛美」と。本当にその通
 りだったと思えました。K
 さんの信仰が網走の教会で
 始まり、深められたことに
 感銘を受けます。Kさんだ
 けでなく、これまでに何人
 もの網走出身の信徒や教役
 者がいろいろな教会で信仰
 生活を送り、人々に大きな
 影響を与えてきました。

巡回当日の福音書はマル
 コ四章の「ガリラヤ湖での
 嵐」でした。教会も信徒一
 人ひとりも、これまでの歩
 みは決して順風満帆ではな
 かったと思います。主がと
 もにいらっしやることを忘
 れて、右往左往していた弟
 子たち、そして舟のともで
 眠っている主を起こして、
 「私たちが溺れてもかまわ
 ないのでか」と叫ぶ弟子
 たち。それに対して、主は
 「なぜ怖がるのか、まだ信
 じないのか」と。主が共に
 おられる舟に乗り込んだ網
 走の信徒たち、まさにその
 お声を聴きながらの一三〇
 年だったと思えます。網走
 の教会の宣教のゆえに主に
 感謝します。

主教 ナタナエル 植松 誠

七、レインボープライド協賛
 に関する件
 ・北海道教区として協賛する
 ことを承認した。今後、L G
 B Tに関わる課題について継
 続的な学びと取り組みの必要
 がある事を確認した。

**十 教区逝去教役者
 記念聖餐式**

八月二一日(水)
 午前一〇時三〇分
 於 主教室聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

- 執事 高津 守三郎
- 司祭 林 兼治
- 執事 高橋 俊夫
- 伝道師 二〇一〇年八月四日
高野 万次郎
- 司祭 上田 貞雄
- 伝道師 二〇〇六年八月七日
清川 成七
- 伝道師 一九五八年八月一〇日
石原 園井
- 司祭 一九一五年八月一日
村瀬 敬輔
- 執事 二〇〇九年八月二七日
高橋 俊六
- 一九四五年八月三〇日



礼拝堂で行われる。その準備のため実行委員長の上平更司祭と広谷司祭が稚内へ。まず本原さんを訪問。珍しい快晴の中、録画の撮影などを行う。

お昼は稚内北星学園大学の学食でAランチ。「黙食」する食堂の窓に雄大な利尻富士が！「ハマナスや今も沖には未来あり」という句を思い出しました。

▽札幌聖ミカエル教会

緊急事態宣言発出を契機に、六月の幼稚園は登園に大きな制約が生じました。その間の園児のご家庭のご苦労、子どもたちの幼稚園に行きたい気持ちや胸が痛みました。中甸より通常保育に戻りほっとしています。日曜学校も七月から再開されます。ワクチン接種が進んだためか、礼拝出席数が増えつつあります。油断せず、感染防止策を徹底する所存。今年に聖ミカエル教会宣教七〇周年。一〇月一〇日の記念礼拝、記念誌の発行などを予定し、準備を進めています。六月八

日、ルカ上村友也さんご逝去。八五年の地上のご生涯でした。天上での安息をお祈りいたします。

▽札幌キリスト教会

緊急事態宣言の解除に伴い五月一六日より六週にわたり休止していた『公開の礼拝』を二七日より再開。距離をとりながらも再会を喜び合う皆の笑顔に教会が包まれました。木曜の「よりみちマルシェ」「アフタヌーンコンサート」も再開。留学生支援の「金曜ランチ」は、暑い時期の衛生管理を考慮し、今後数ヶ月はお弁当からパンを中心としたランチに変更しています。

一四日、アグネス小林園枝さんが天に召されました。生前の交わりとご奉仕に感謝し霊の平安を心より祈ります。

▽新札幌聖ニコラス教会

五月より、公祷の礼拝が中止となり、YouTube経由で礼拝を行う。毎回、接続のトラブルや音声問題などありつつも、知恵を出し合いようやく安定してきた様子。二七日

には、久しぶりに一五名が集まり好天の下、上平司祭挨拶後はじめての聖餐に与る。

▽苫小牧聖ルカ教会

苫小牧市もコロナ感染者が四〇〇人に近づいています。教会は短縮祈禱書による礼拝を継続していますし、五月末から補式者の奉仕を中止、司祭一人の礼拝となりました。主日礼拝には皆さん変わりなく参加していることに感謝です。それでも「聖書輪読会」と新たに始めた「聖歌を歌う会」も当分の期間休止することにしました。

嬉しい出来事もありました。二七日に高橋賢司さんの洗礼志願式を行いました。これからの信仰の歩みをお祈りください。一日も早くみんなが笑顔で集える教会生活ができることを願っています。

▽函館聖ヨハネ教会

教会活動が制限されるなか、好天の六月二六日・二七日午後オープンガーデン開催。信徒による絵画、生け花、フェルト等の作品を聖堂に展

示。司祭作成の立看板が奏効して市民、修学旅行の小中校生、旅行者が来教。聖堂を見学したり、婦人会手製のクッキーやケーキを買ったり、色とりどりのバラや草花が咲き誇る園庭前でのジャズ演奏や臨床美術をそれぞれ楽しめました。この日のために皆が協力し合い、これまでのモヤモヤした閉塞感が吹き飛びました。

只今名古屋の笹島キリスト教連絡会への支援物品を準備中。

▽平取聖公会

六月に入って晴天の日が多く牧草が次々と収穫され、草地から良い香りが漂ってきました。祭壇には幾種類ものアヤメが活けられています。

マルコの年の聖書も半年が過ぎ、イエスの数々の奇跡の物語が続きます。平取聖公会の宣教も一四〇年が過ぎました。平取町立アイヌ博物館ではジョン・バチラーのアイヌ伝道を本年の特集とし、四月に「文化財だより」で活動

が掲載され、一〇月、十一月に特別展示が行われます。北海道教区の宣教一五〇年も近づいていますので、ぜひ来館される事をお薦めします。その頃までには新型コロナウイルスも終息していることと思います。

▽紋別聖マリヤ教会

六月に入り、気温差が激しい日があるも比較的晴天に恵まれており、作物が元氣よく成長しております。特に酪農が盛んな紋別近郊では、風物詩ともいえる牧草の一番草の収穫・バンカーサイロのタイヤ乗せ(重し)の作業が終わり、酪農らしい重労働が一段落。六月一九日、土曜日でありましたが午後二時から聖餐式。仕事の都合上、いつもより少ない人数でしたが、コロナ禍において聖餐に与れていることに感謝いたします。

▽有珠聖公会

新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、五月の礼拝は中止となりましたが、六月二七日に再開。共に主を賛美する喜びを、分かち合いました。

